

気象庁委託調査

**気候情報を活用した気候リスク管理技術に関する
調査報告書
～家電流通分野～**

平成 29 年 3 月

**株式会社インテージリサーチ
(協力:大手家電流通協会)**

< 目次 >

1. 調査目的	1
2. 調査体制・データ・方法	2
2.1 調査体制	2
2.2 利用データ	3
(1) 家電品目データ	3
(2) 気象データ	4
2.3 分析方法	5
(1) 気候リスク評価	5
(2) 気候リスクへの対応	6
3. 調査結果	7
3.1 気温等との相関関係	8
(1) エアコン販売	9
(2) エアコン修理	10
(3) 石油ファンヒーター販売	11
(4) 石油ストーブ販売	12
3.2 気候リスク評価	13
(1) エアコン販売	13
(2) エアコン修理	18
(3) 石油ファンヒーター販売	21
(4) 石油ストーブ販売	23
3.3 地域別の分析について	25
3.4 気候リスクへの対応	30
(1) エアコン販売	31
(2) エアコン修理	37
(3) 石油ファンヒーター販売	41
4. まとめ	46
4.1 成果とまとめ	46
(1) 気候リスクの「評価」	46
(2) 気候リスクへの「対応」	47
(3) 評価・対応の限界	49
4.2 課題と解決に向けた提案	50
(1) 気象庁が提供している気候予測データについて	50
(2) 家電流通分野における課題	50
4.3 調査結果の活用と他分野への応用	51
4.4 大手家電流通協会からのコメント	52
付録 A. 分析地域の選定について	53
付録 B. 気温と相関の強い品目の通年の時系列図と散布図	55
付録 C. 気温予測資料の見方と入手方法	83
付録 D. 2 週先までの確率予測及び 1 か月予報の成績	90
付録 E. 平均気温・最高気温・最低気温の関係	99
付録 F. 用語集	103